

[ データから読み解く地域経済動向 ]

< ~withコロナからpostコロナにむけて~ >

和歌山県企画部企画政策局調査統計課 主 幹 永尾 吉賞  
一般財団法人 和歌山社会経済研究所 研究員 藤本 迪也

## 第2部

# 足下の地域経済動向

# 報告の内容

---

- ① 「経済社会の見方・考え方」で地域経済を見る
- ② 取り上げる地域は「和歌山県」



# 県内景況感

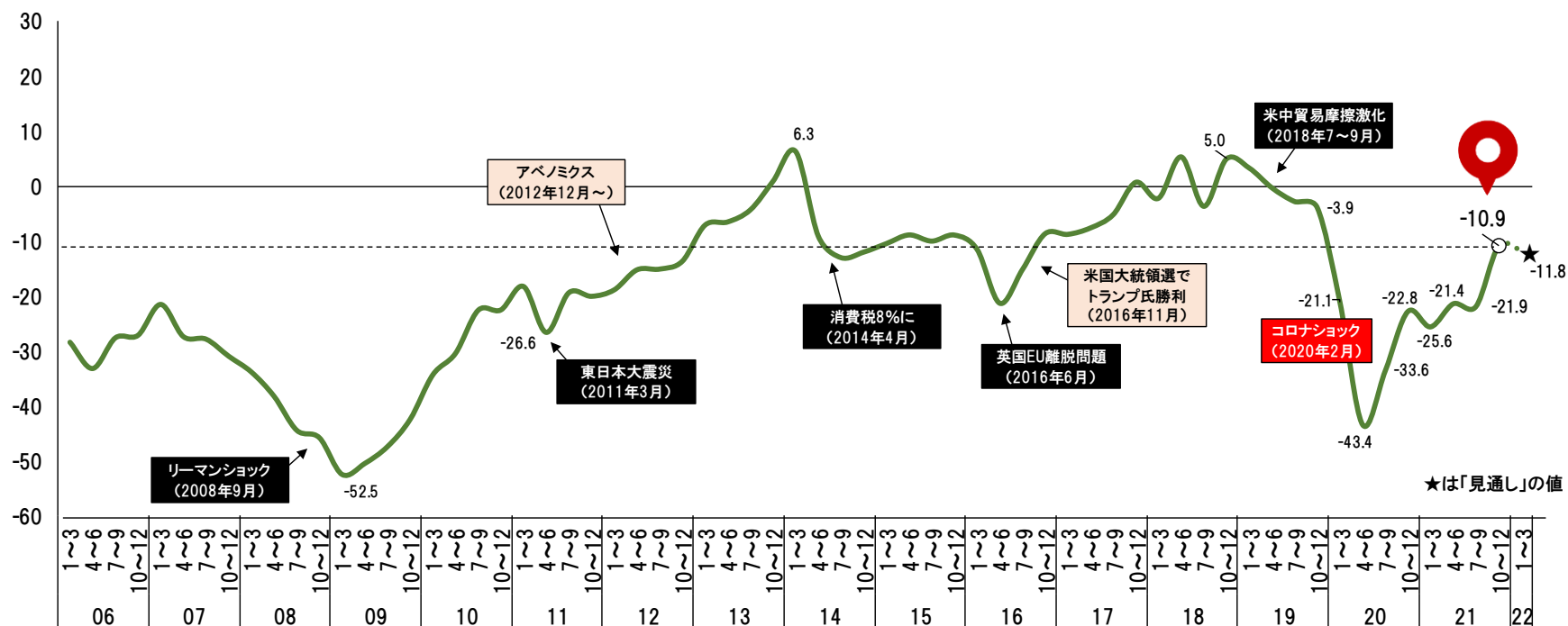
---

- 1 県内2,000社を対象としたアンケート調査
- 2 都道府県レベルの景況調査
  - 各都道府県にあるシンクタンク
  - 商工会/商工会議所、中小企業団体中央会
  - 帝国データバンク
  - 財務省「法人景気予測調査」
  - 中小企業基盤整備機構「中小企業景況調査」

# 県内景況感の推移(全産業)

景況BSI = 「良い」と回答した事業者割合 - 「悪い」と回答した事業者割合

(自社景況BSI)

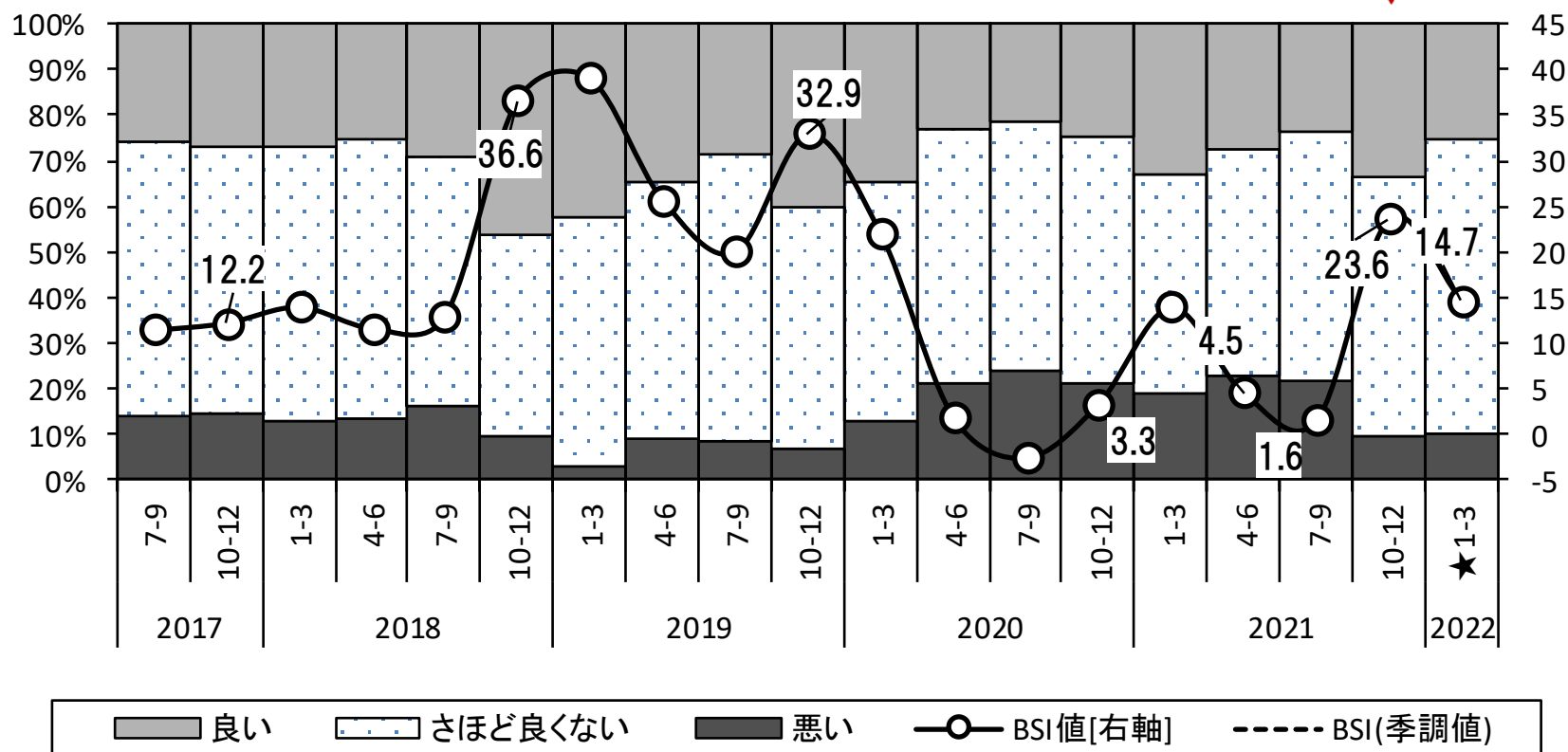


# 県内景況感の推移(建設業)

景況BSI = 「良い」と回答した事業者割合 - 「悪い」と回答した事業者割合

(構成比) ★は「見通し」の値。

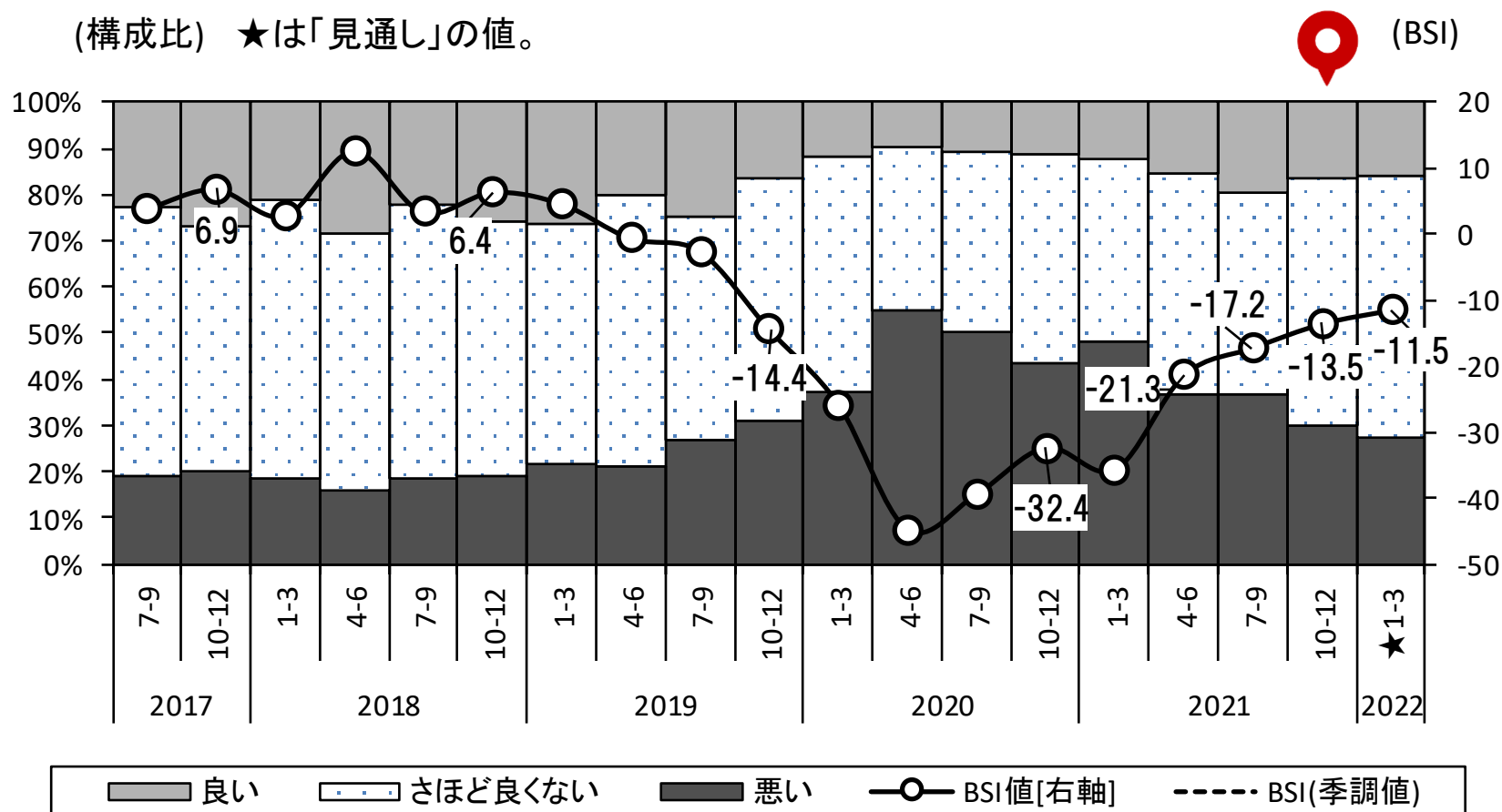
 (BSI)



# 県内景況感の推移(製造業)

景況BSI = 「良い」と回答した事業者割合 - 「悪い」と回答した事業者割合

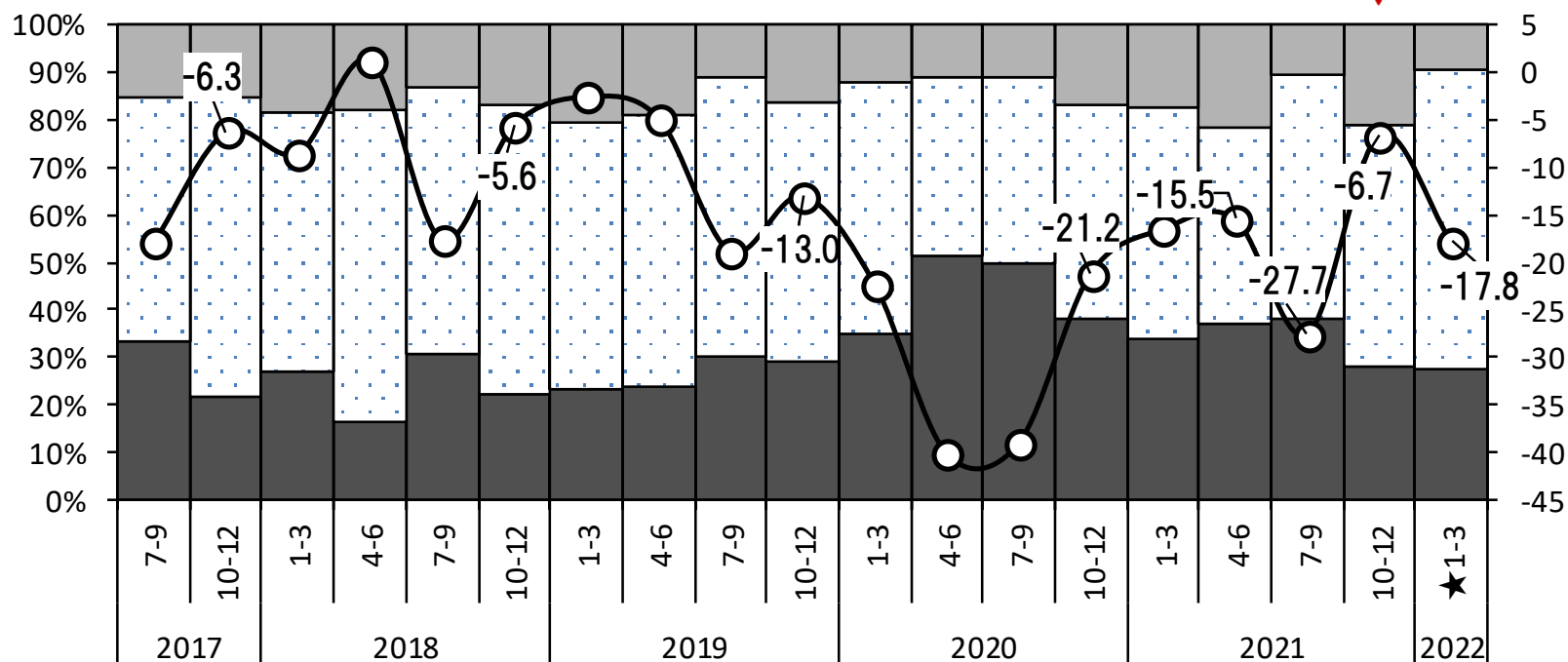
(構成比) ★は「見通し」の値。



# 県内景況感の推移(卸売業)

景況BSI = 「良い」と回答した事業者割合 - 「悪い」と回答した事業者割合

(構成比) ★は「見通し」の値。



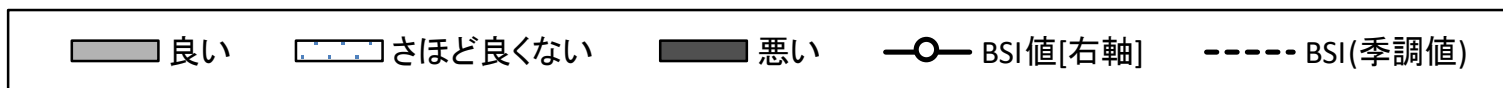
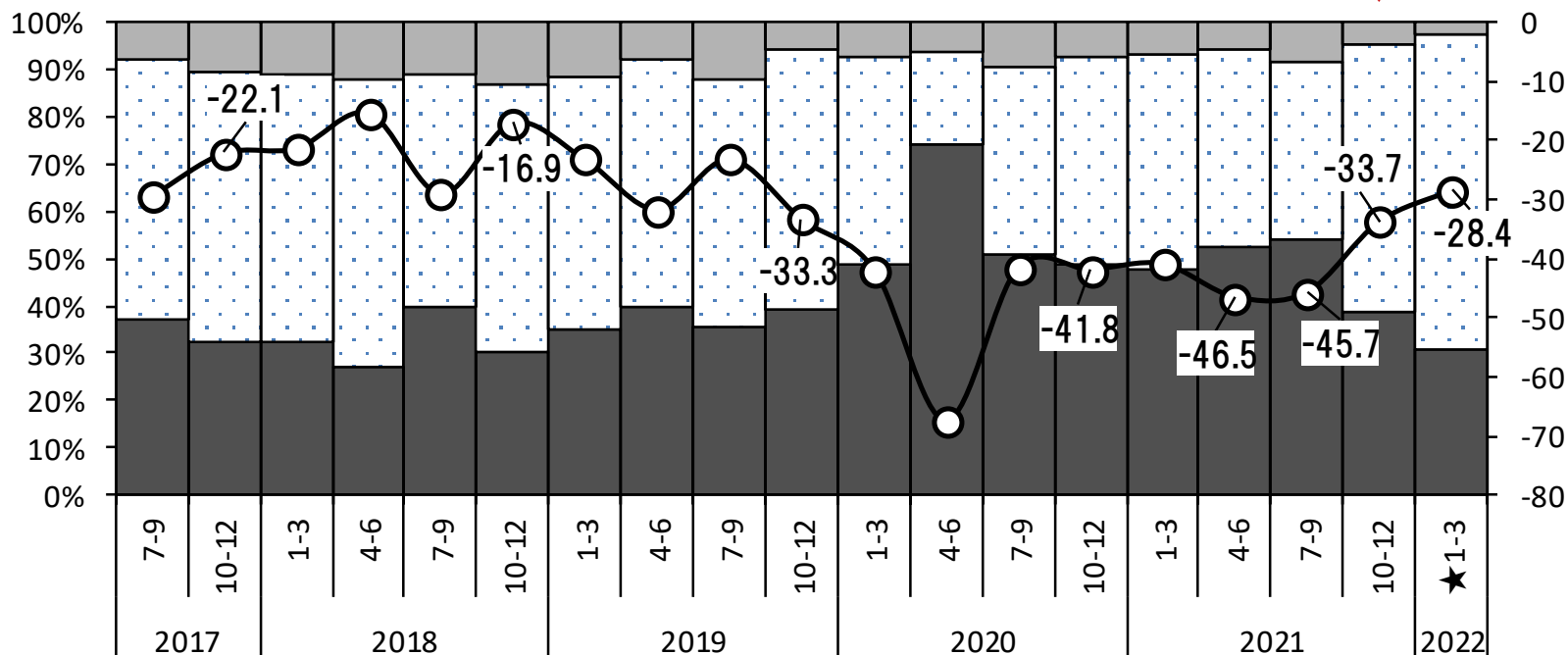


# 県内景況感の推移(小売業)

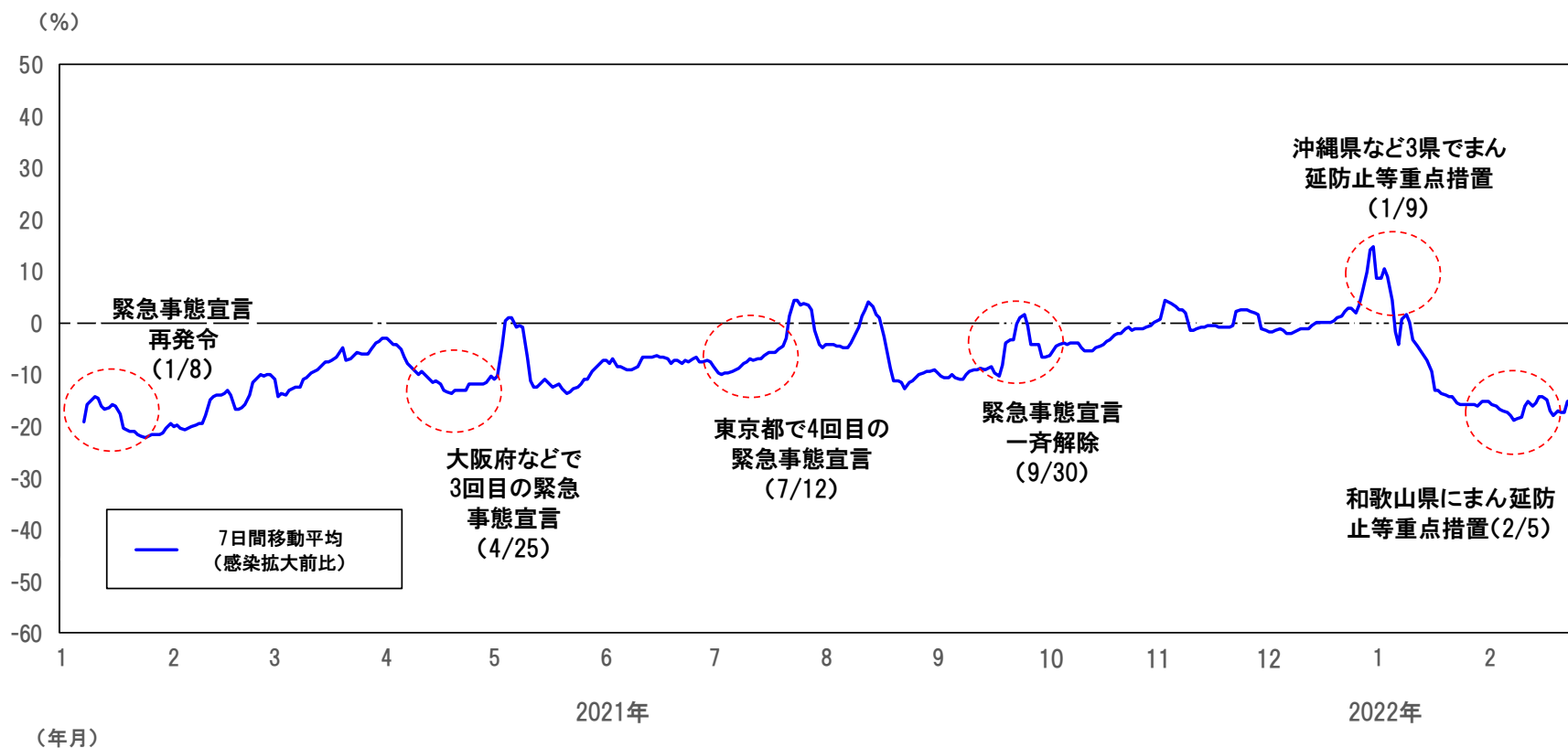
景況BSI = 「良い」と回答した事業者割合 - 「悪い」と回答した事業者割合

(構成比) ★は「見通し」の値。

 (BSI)



# 県内商業施設等への人出状況

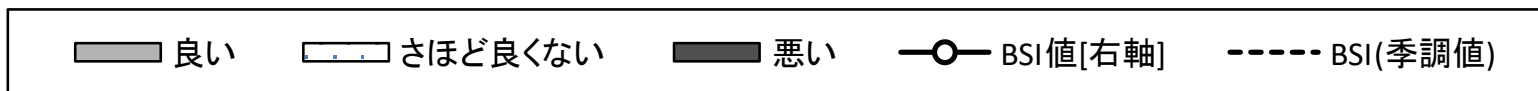
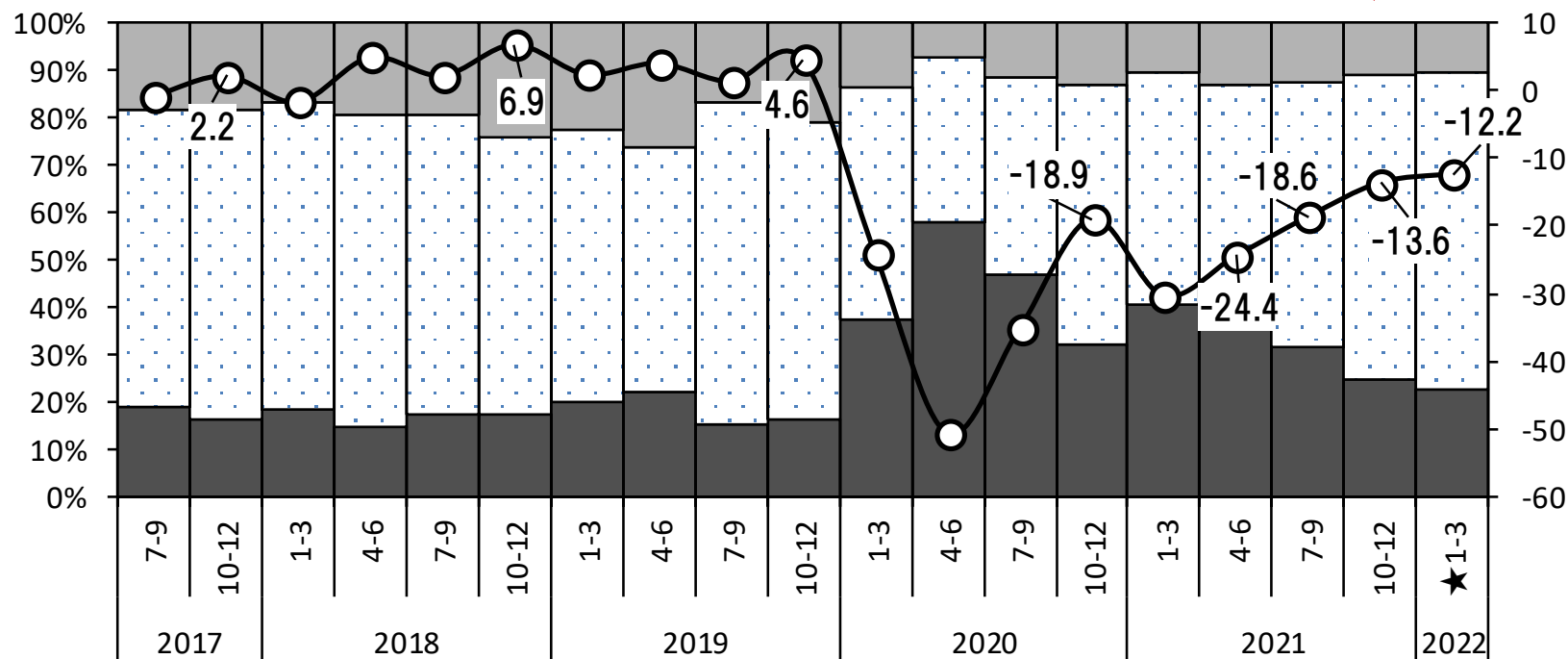


(資料) Google 「Covid-19 Community Mobility Reports」

# 県内景況感の推移(サービス業)

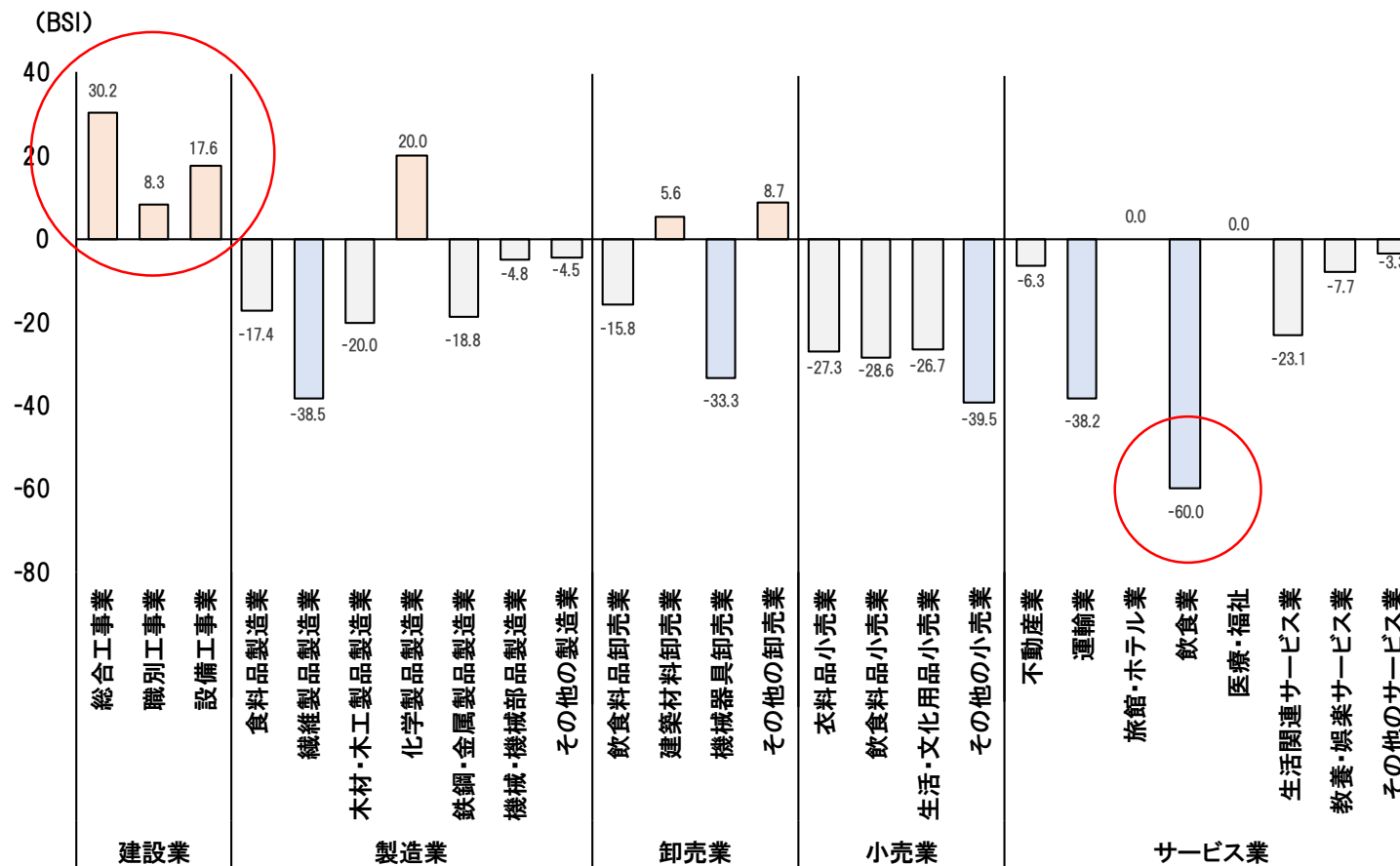
景況BSI = 「良い」と回答した事業者割合 - 「悪い」と回答した事業者割合

(構成比) ★は「見通し」の値。



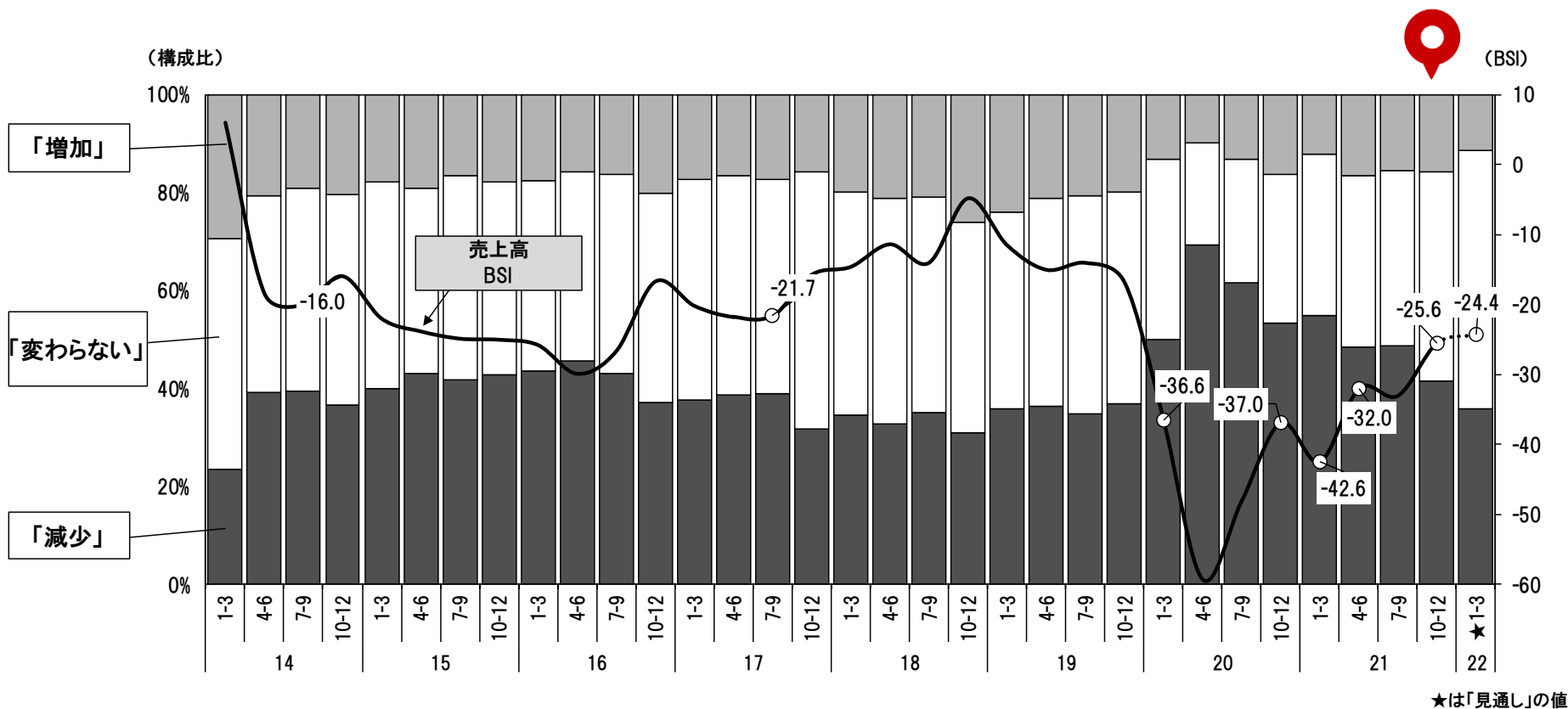
# 景況BSIの水準(業種別)

※ 景況BSI = 「良い」と回答した事業者割合 - 「悪い」と回答した事業者割合



# 売上高BSIの推移(全産業)

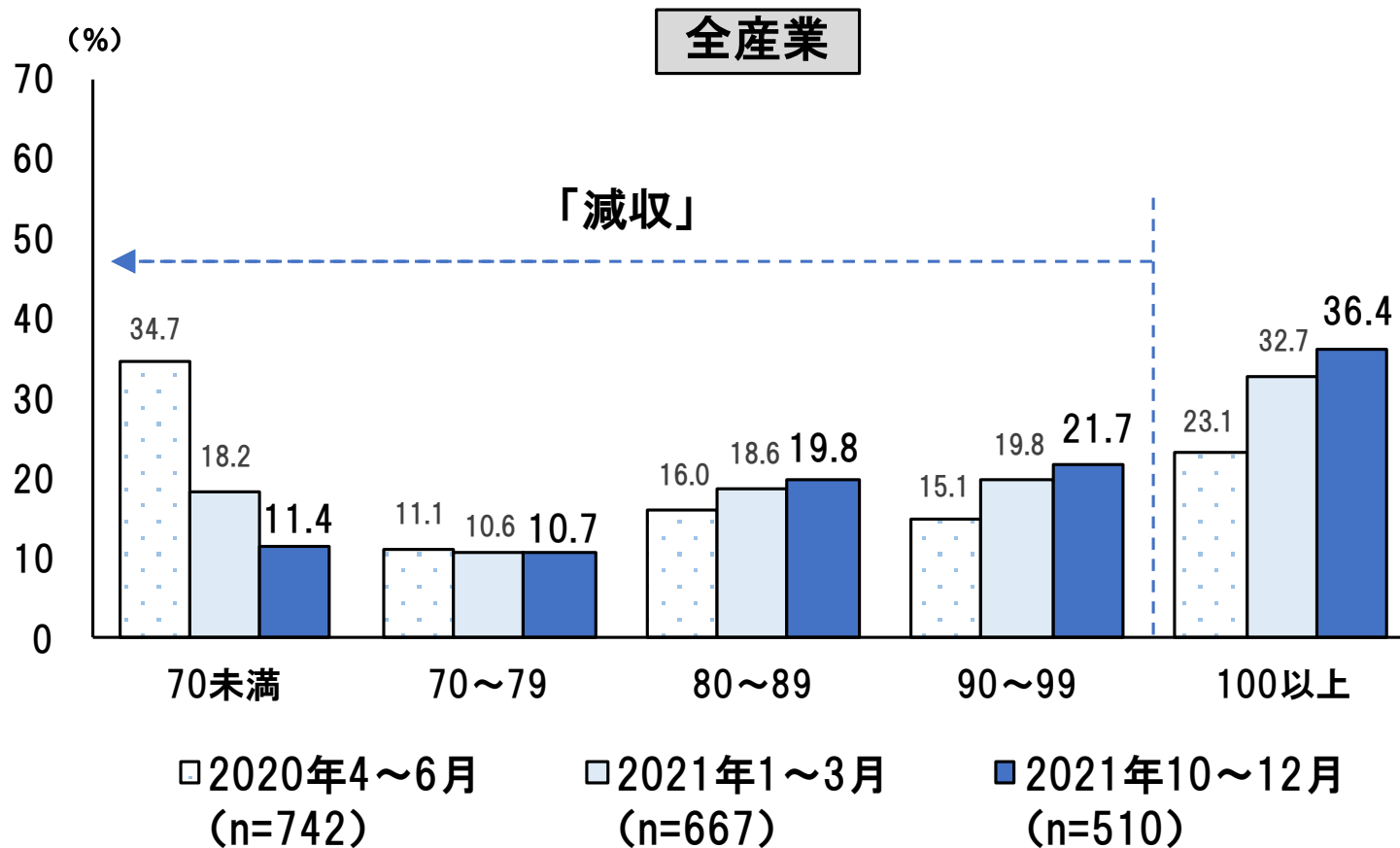
売上高BSI = 「増加」(前期比)と回答した事業者割合 - 「減少」と回答した事業者割合



# 特集アンケート「コロナ禍における業績状況・変化」

## 売上高水準（コロナ禍前=100）

「100以上」の事業者が増加するも、「減収」事業者が過半数(63.6%)

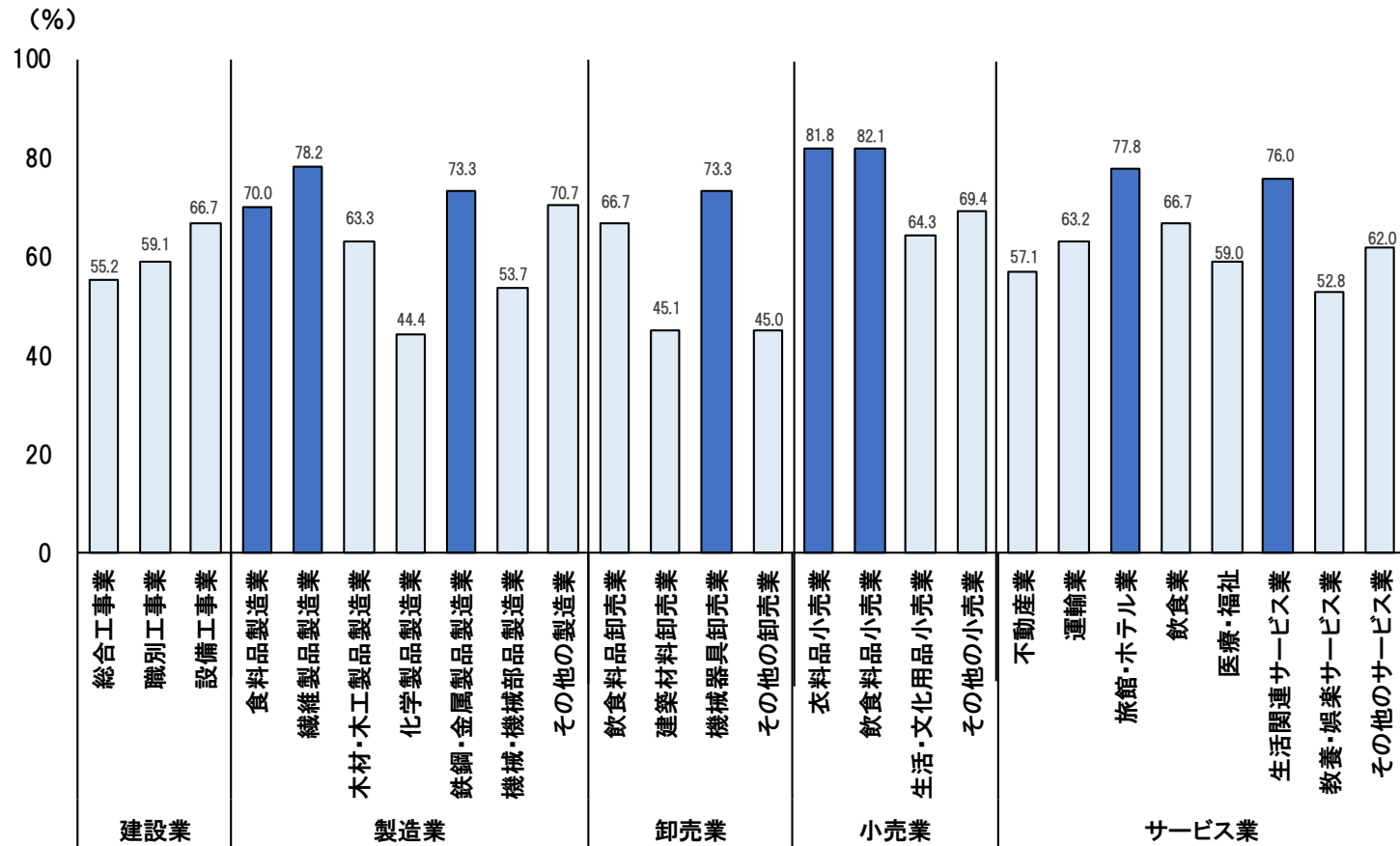


# 特集アンケート「コロナ禍における業績状況・変化」

## 売上高水準（コロナ禍前=100）

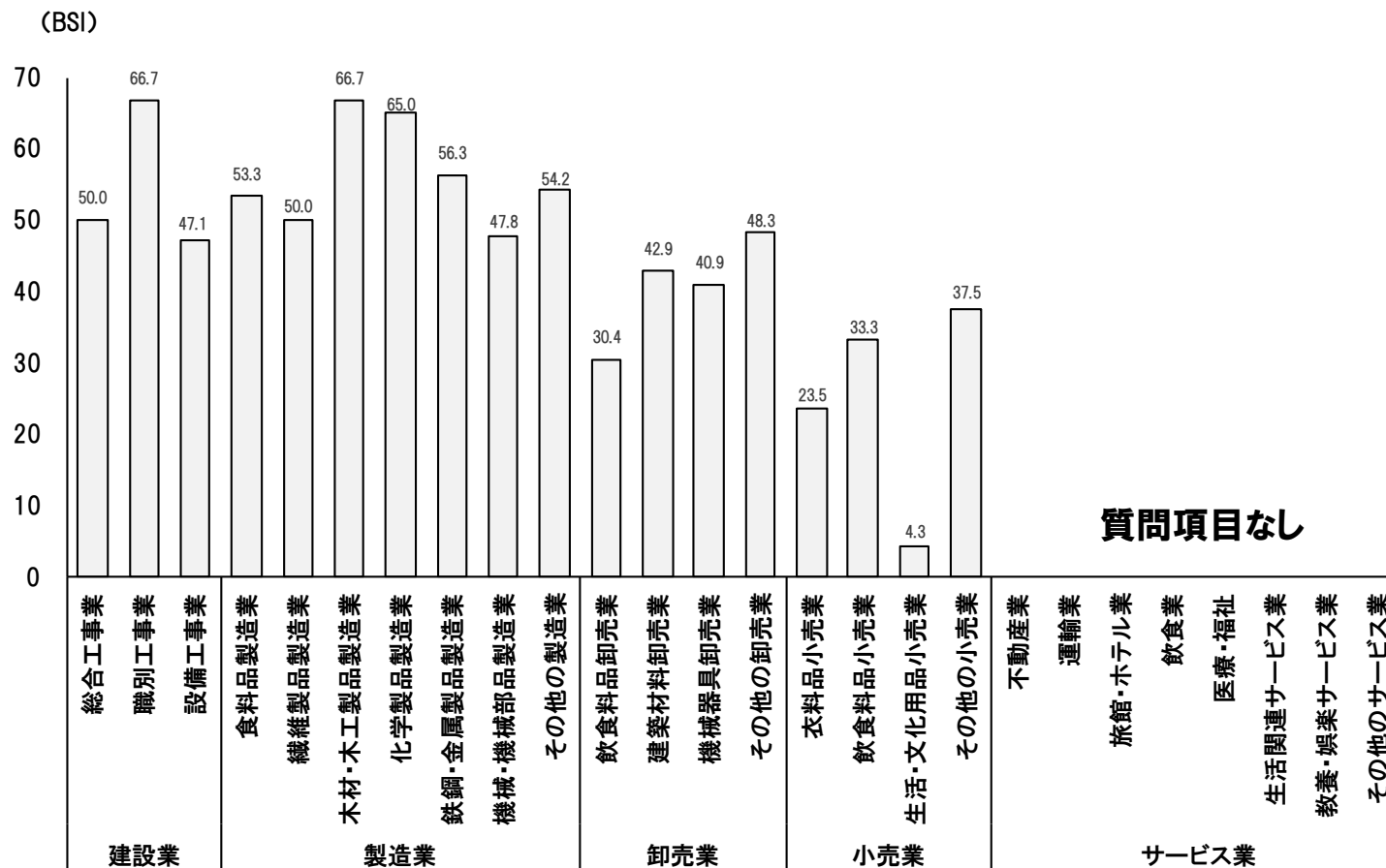
製造業、小売業、サービス業の一部業種で「減収」事業者が目立つ

【業種別】10～12月期が「減収」だった事業者割合



# 仕入価格BSIの水準(業種別)

※ 仕入価格BSI = 「上昇」(前期比)と回答した事業者割合 - 「下降」と回答した事業者割合

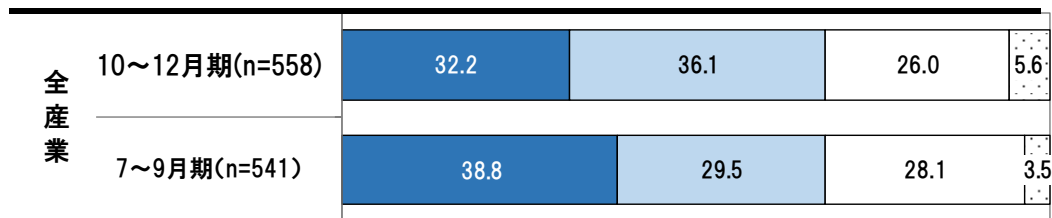




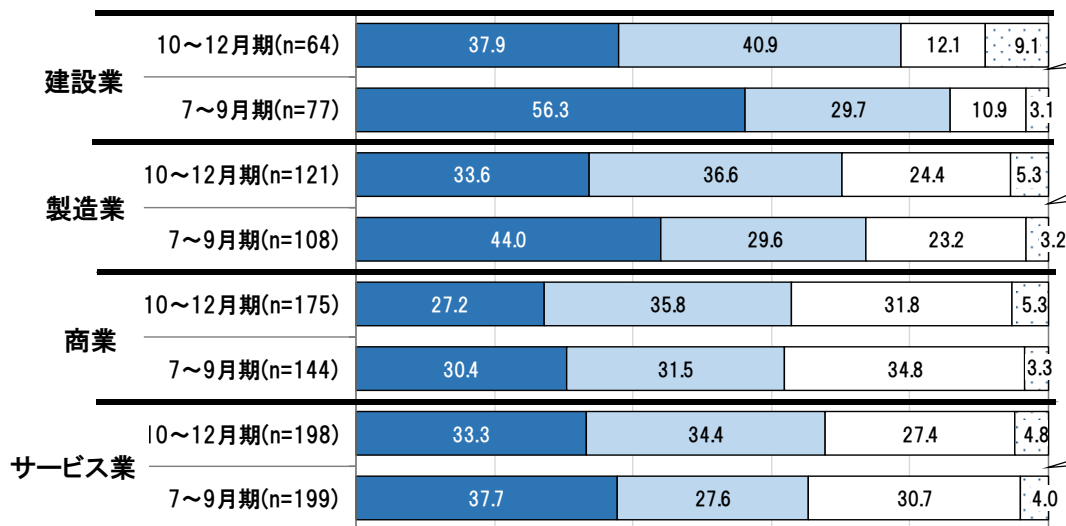
# 特集アンケート「コロナ禍における業績状況・変化」

## 収益状況（2021年10～12月期）

7～9月期に比べて「黒字」が減少し、「収支トントン」が増加



.....産業別集計.....



・総合工事業で「黒字」が減少

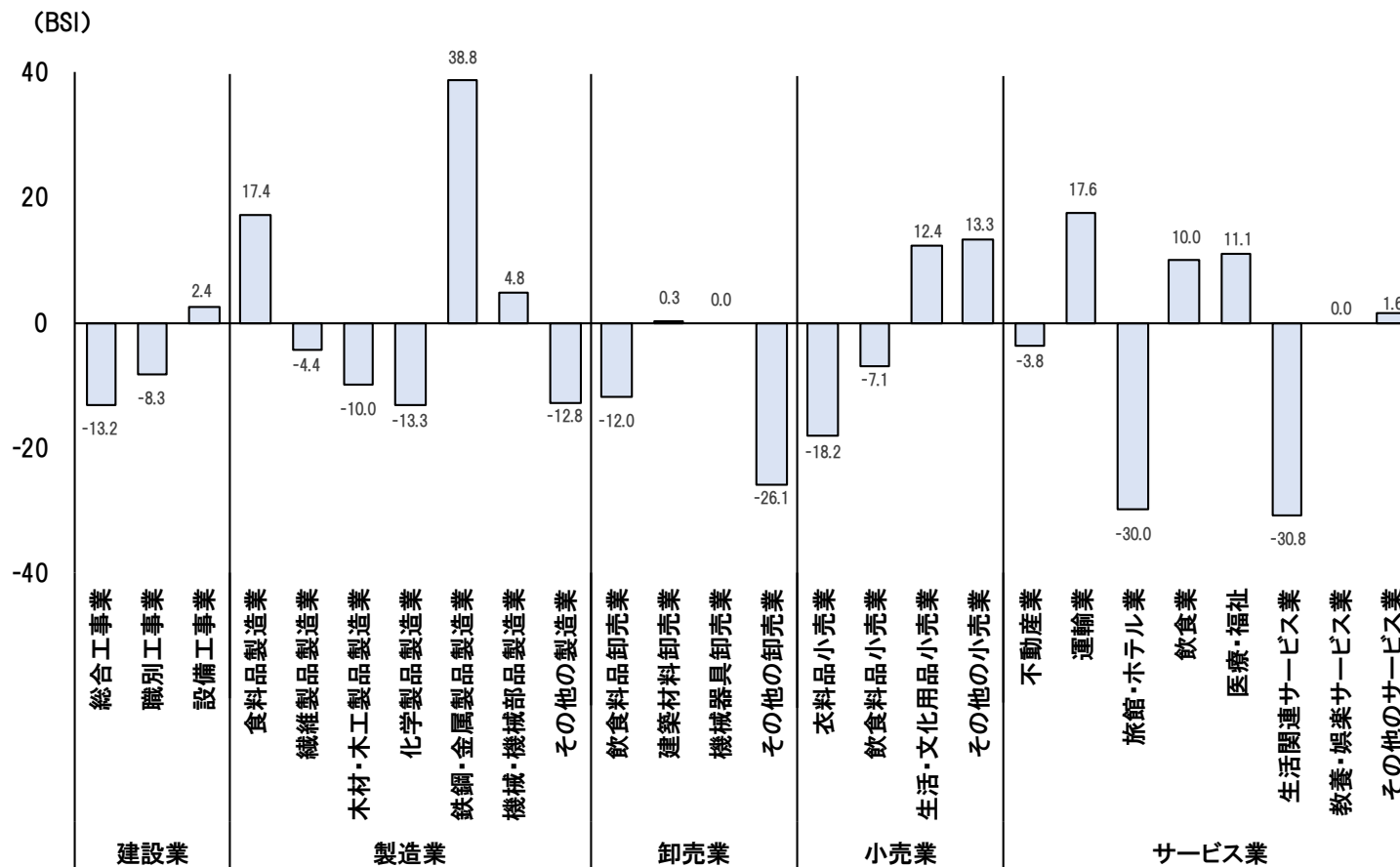
・繊維製品製造業では「赤字」が増加  
・化学製品製造業では「黒字」が減少

・旅館ホテル業で「赤字」が減少

■黒字    □収支トントン    □赤字    □わからない

# 景況BSIの変化(1~3月期見通し)

※ 2022年1~3月期における見通し景況BSI—21年10~12月期の景況BSI



# まとめ ～ 和歌山県内の景況感 ～

---

1 全ての産業で景況感が改善

2 コロナ禍で厳しい状況にあった小売業・サービス業でも景況感改善

3 売上高・収益等の改善の動きは依然として乏しい

4 仕入価格の上昇が業績に悪影響を及ぼしている

5 「変異株」への懸念強まり、見通しの景況感は下降

# 都道府県ごとの景況調査

---

- 都道府県レベルの景況調査
  - 各都道府県にあるシンクタンク
  - 商工会/商工会議所、中小企業団体中央会
  - 帝国データバンク
  - 財務省「法人景気予測調査」
  - 中小企業基盤整備機構「中小企業景況調査」

# 足下の状況はどうなっているのか？

---

## 2022年1～3月期の状況

- 1 ウクライナ情勢（物価上昇、供給制約等）
- 2 オミクロン株の感染拡大
- 3 原油価格他、各種資源価格の高騰
- 4 半導体不足などの供給制約
- 5 世界的な物流網の停滞
- 6 為替動向の不確実性

# 足下の状況を把握する方法

---

1 インタビュー調査

2 速報性の高いデータの活用

3 シンクタンク・調査機関が発表するレポートの活用

# インタビュー調査

---

## ● 県内企業へのインタビュー

- 1月以降、**結婚式がキャンセル**になるなど業績への影響あり（生花店）
- 飲食業のノウハウを活用して、**冷凍食品**をインターネットで販売。業績好調（飲食業）
- 東南アジアでの靴製造がコロナ禍で**生産調整**思うように仕入ができない状況（靴小売業）
- **半導体の入荷は14か月待ち**の状況。インターネット上での購入先などを探している状態（金属加工業）

# インタビュー調査

---

- 中小企業団体中央会の公開情報
  - 燃料価格の高騰で、収益性がますます悪化している（運輸業）
  - ホテル業での業務減少、一般家庭との契約にキャンセルが多数発生。（ビルメンテナンス業）
  - 12月までは回復傾向にあったが、1月以降はイベントキャンセルなどで再び厳しい状況に（商店街）



# インタビュー調査

---

- 帝国データバンクの公開情報
  - 年末年始の降雪により、除雪・排雪作業が好調  
(建設業)
  - 鋼材、ボルト類の副資材から溶接ワイヤーなどの消費財の価格高騰で利益圧迫 (鉄骨工事業)
  - 半導体など様々な部品不足で生産できない。取引先の生産計画では「増産」となっているにもかかわらず、キャンセル・減産のパターンが多い (自動車部品製造業)

# 速報性の高いデータの活用

---

## ● 購買担当者景気指数（PMI）

- 企業の購買担当者から景況感を聞き取り集計した景気指標
- 製造業、非製造業の区分で公表
- 主要各国のPMIが公表
- 現時点では2月時点のデータが公表

# 速報性の高いデータの活用

## ● 購買担当者景気指数（PMI）

### auじぶん銀行 日本サービス業PMI®

及び、auじぶん銀行 日本複合PMI®

サービス業の事業活動、1月は再び縮小傾向に

#### 主な動向

生産高と新規事業数は再び減少

雇用者数、20か月ぶりの大幅減少

企業の楽観的な見通し、直近5か月間で最低値

データ収集期間：2022年1月12～26日



出典：auじぶん銀行、IHS Markit、内閣府

# 速報性の高いデータの活用

## ● 購買担当者景気指数（PMI）

### auじぶん銀行 日本製造業PMI®

#### 2月、製造業の業況は拡大傾向が鈍化

##### 主な動向

新規受注数が伸び悩む中、生産高は再び減少

購買価格、2008年8月以来の急激なペースで上昇

納入遅延や原材料不足の中、購買品在庫が史上最大の増加率を記録

2022年2月のデータ収集期間：2022年2月10～21日。

日本の製造業は2月、業況がさらに改善したことを指摘した。しかし、

auじぶん銀行 日本製造業PMI  
季節調整済み、>50 = 前月比で改善

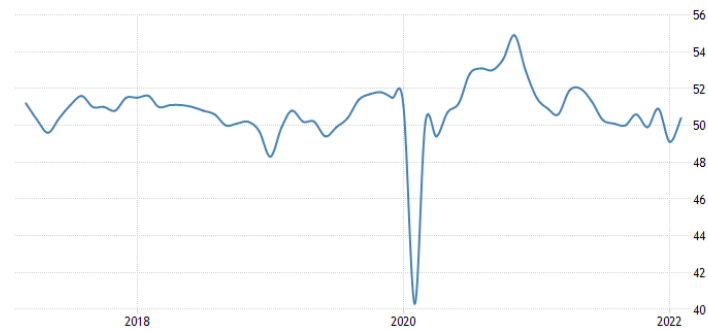


# 速報性の高いデータの活用

## ● 購買担当者景気指数 (PMI)



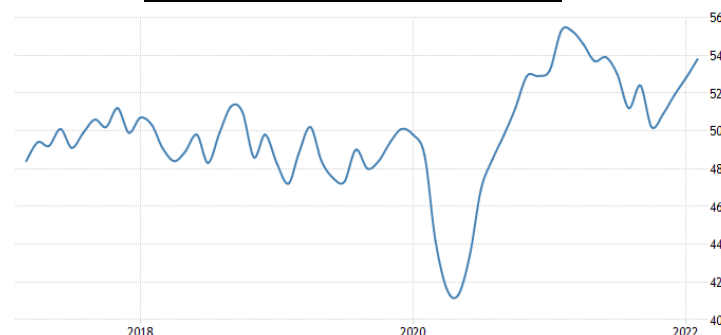
米国・製造業



EU・製造業



中国・製造業



韓国・製造業

# 速報性の高いデータの活用

## ● 帝国データバンク景気動向調査



# 速報性の高いデータの活用

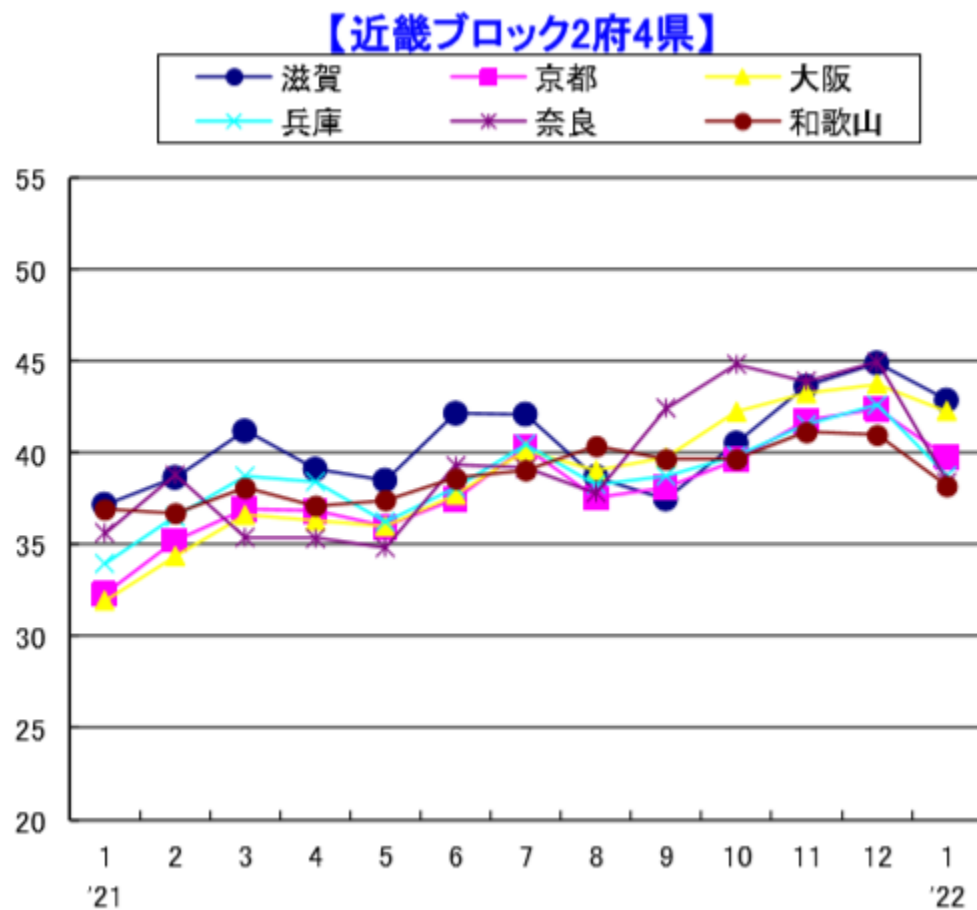
## ● 帝国データバンク景気動向調査

### 調査結果のポイント

1. 2022年1月の景気DIは前月比2.7ポイント減の41.2となり、5カ月ぶりに悪化した。国内景気は、感染者数の急増で企業活動が再び抑制されるなど、大幅に落ち込んだ。今後は、一時的な落ち込み後に緩やかな回復が見込まれるものの、下振れリスクの動向に注視する必要がある。
2. オミクロン株の感染が拡大し、**全10業界中9業界、51業種中47業種が悪化**。また、原材料価格の上昇が継続するなか、仕入単価DIは30業種で上昇。販売単価DIも『製造』『卸売』『小売』など3業界6業種で過去最高の水準も、価格転嫁には厳しさがみられる。
3. 全10地域が悪化した。まん延防止等重点措置が34都道府県で出されたことに加えて、**大雪の影響も下押し要因**となった。最初の緊急事態宣言が発出された2020年4月以来、1年9カ月ぶりに政令指定都市20市がすべて悪化。規模別では「大企業」「中小企業」「小規模企業」すべてが5カ月ぶりにそろって悪化した。

# 速報性の高いデータの活用

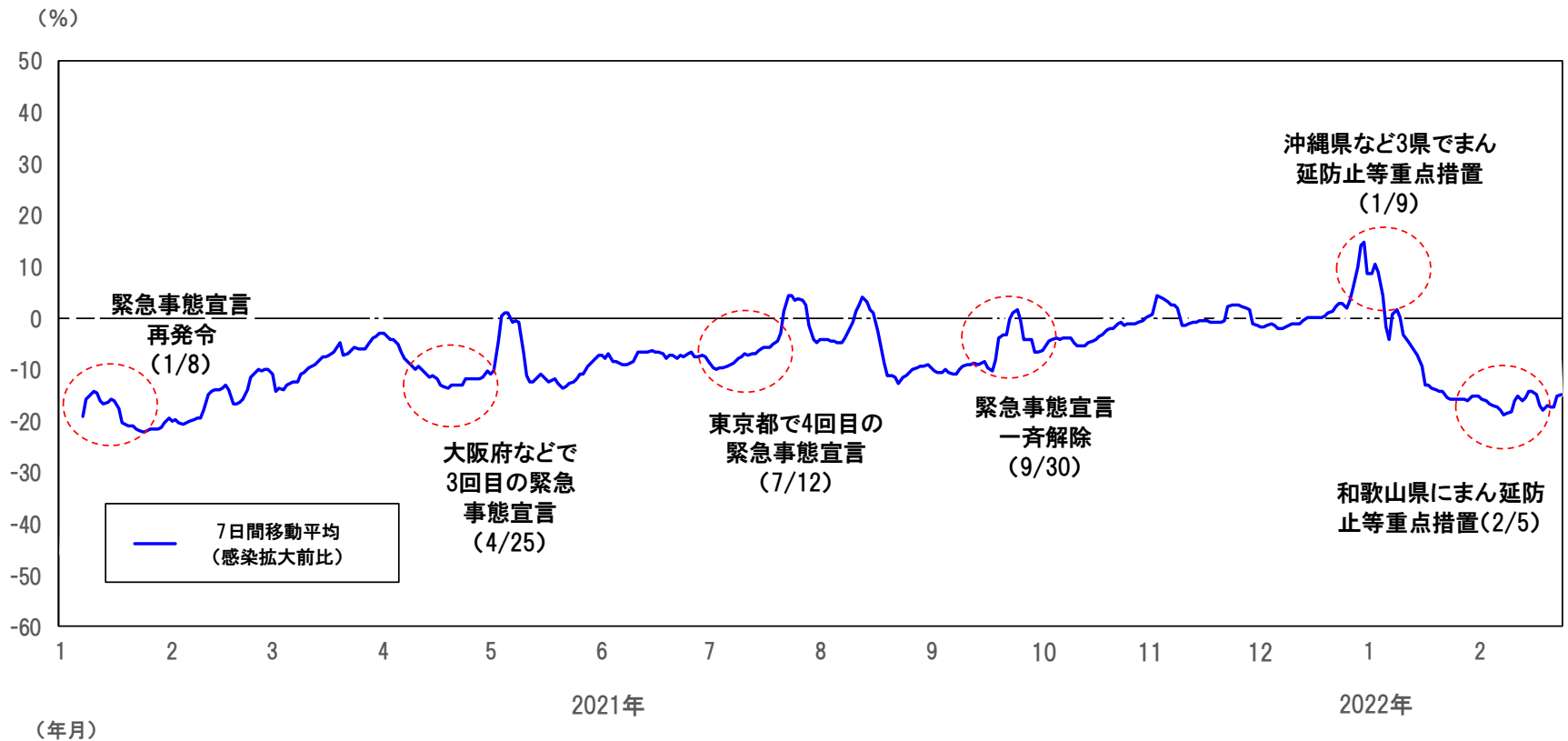
## ● 帝国データバンク景気動向調査（和歌山県）





# 速報性の高いデータの活用

## ● Covid-19 Community Mobility Report (Google)

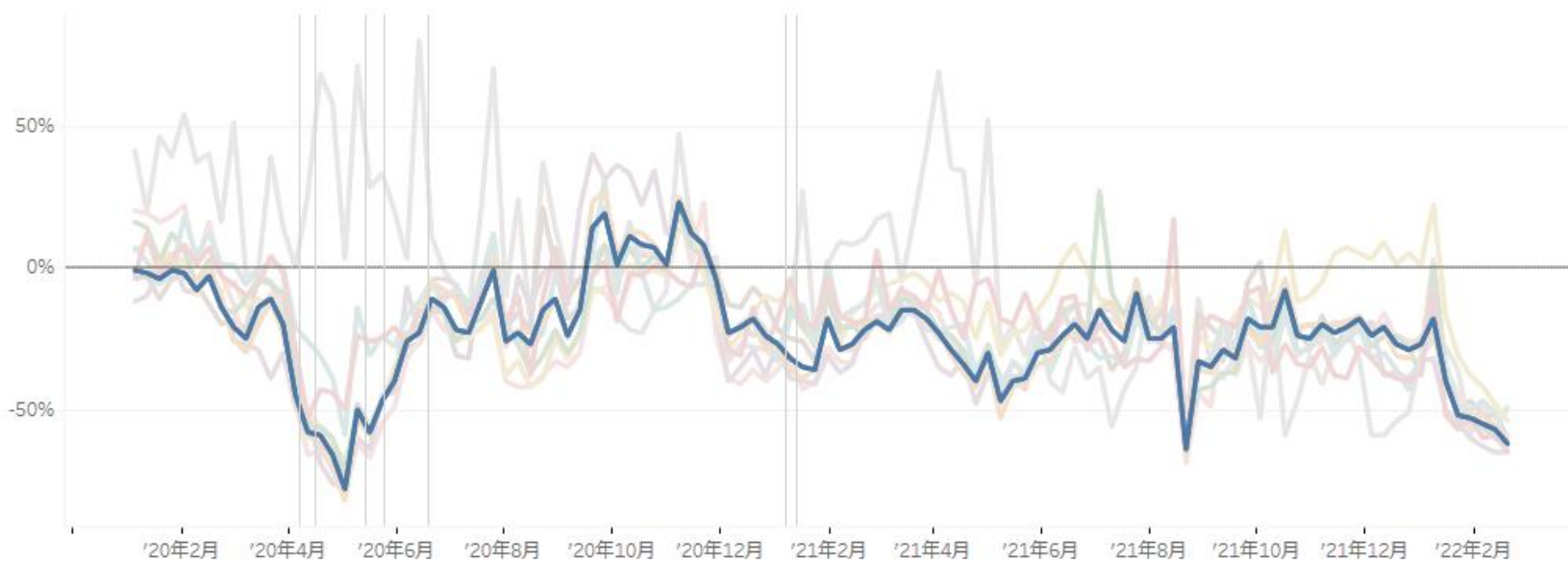


(資料) Google「Covid-19 Community Mobility Reports」

# 速報性の高いデータの活用

## ● V-resas（内閣府・内閣官房）

飲食店情報閲覧数（2019年比）



（資料）Retty株式会社 Food Data Platformより提供

# 速報性の高いデータの活用

## ● 観光予報プラットフォーム

### 和歌山県・白浜温泉

		3月	4月	5月	6月	7月	8月
混雑予想							
増加率（対前年比）	全体						
	海外からの増加率						
	国内からの増加率						

かなり混雑
 混雑
 やや混雑
 やや空いている
 空いている

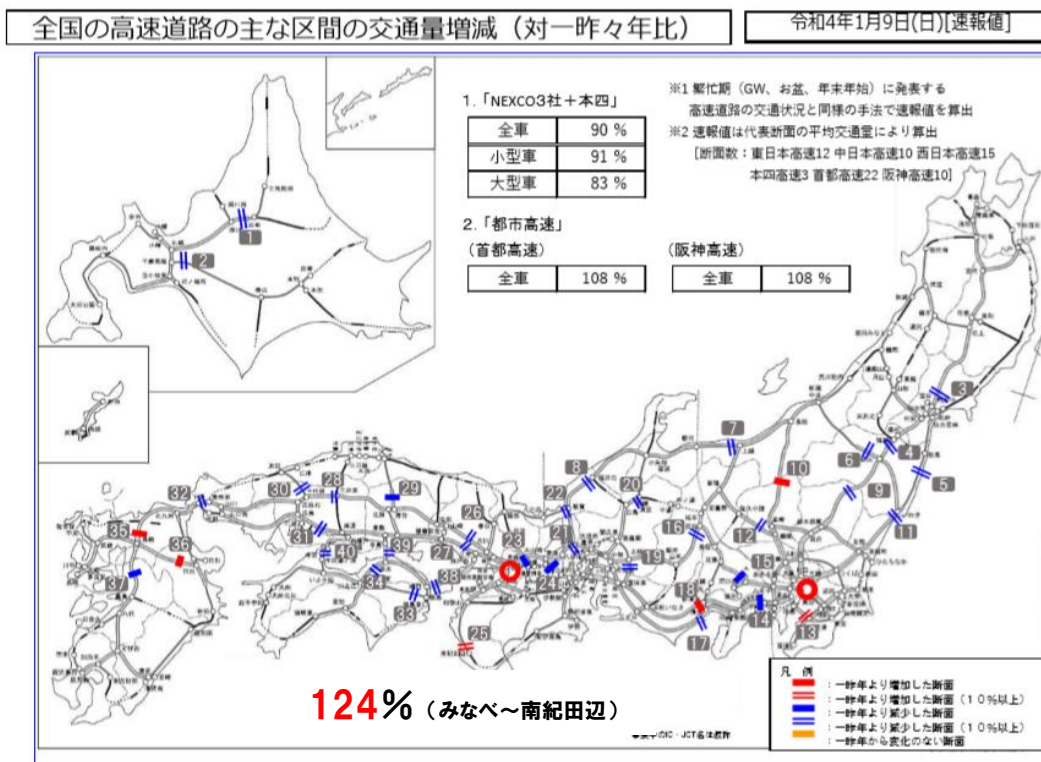
上昇中
 前年並み
 下降中

（資料）観光予報プラットフォーム推進協議会

# 速報性の高いデータの活用

## ● 全国の高速度道路交通量

2022年1月9日（日）

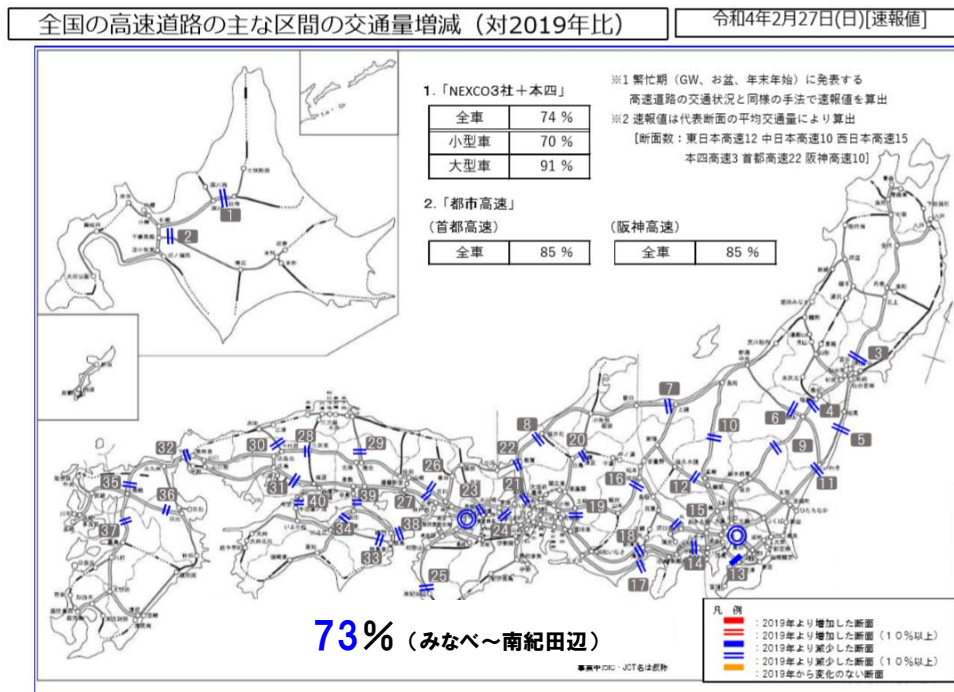


（資料）国土交通省「全国・主要都市圏における高速度道路・主要国道の主な区間の交通量増減」

# 速報性の高いデータの活用

## ● 全国の高速道路交通量

2022年2月27日（日）



（資料）国土交通省「全国・主要都市圏における高速道路・主要国道の主な区間の交通量増減」

# シンクタンク・調査機関が発表するレポートの活用

---

## ● 国内主要シンクタンク

- 日本総研
- 大和総研
- ニッセイ基礎研究所
- 第一生命経済研究所
- みぞほりサーチ&テクノロジーズ
- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング
- 丸紅経済研究所
- 伊藤忠総研
- 浜銀総研

# まとめ ～ 1～3月期の県内情勢予測 ～

---

- 1 県内景況感は製造業、非製造業とも悪化見込み
- 2 製造業は生産調整、仕入価格上昇が大きく影響
- 3 非製造業については、人出減少、企業活動停滞が大きく影響
- 4 世界の製造業の状況は改善の兆しも、ウクライナ情勢が懸念